

<p>★学校の教育目標 ◎ よく考える子ども ◎ 思いやりのある子ども ○ 体をきたえる子ども ○ 最後までやりぬく子ども</p>		<p>★重点計画の概要</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 確かな学力・・・知識技能、思考力・判断力・表現力等を身に付け、意欲的に学ぶ児童の育成 2 豊かな人間性・・・自己を律し、他と協調して、命を大切に育てる児童の育成 3 健康・体力の向上・・・自らの健康増進・体力向上に努め、運動に親しむ児童の育成 4 知・徳・体が育つ基礎の構築・・・苦難や逆境を乗り越えて人生を自ら創造していく児童の育成
<p>★目指す学校像（ビジョン）</p>		
<p>【目指す児童像】 ◎ よく考える子ども（知育） ◎ 思いやりのある子ども（徳育） ○ 体をきたえる子ども（体育） ○ 最後までやりぬく子ども（知・徳・体が育つ基礎）</p>		
<p>【目指す学校像】 ○ 子供たちが、互いに学び合い成長する学校 ○ 安心して自分の力が発揮できる学校 ○ 教職員が、情熱とプロ意識をもって、実践し達成感のある学校 ○ 学校・保護者・地域が連携し、信頼し合う、開かれた学校</p> <p>【目指す教師像】 「子供にとって最大の教育環境は教師自身である」 ○ 明るく前向きで、心身共に健康な教師</p>		

領域	中期経営目標	短期経営目標	具体的方策	取組指標					
				取組指標	成果指標				
確かな学力	○思考力・判断力・表現力等を育成するために、各教科等において、言語活動を充実させ、「主体的・対話的で深い学び」を実現する。	○確かな学力の育成のために、各教科等において、「話す・書く」活動を取り入れ、自分の考えをもち、伝え合い、学び合う学習を行う。	・国語科の説明文の学習等を通して、ユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業を行う。	4 95%以上の教員が、ユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業を行ったか。	4 児童アンケートで「授業が分かりやすい」と回答した児童が、90%以上				
			・自分に合った学び方を選ばせる、ペア学習やグループ学習を取り入れること等を通して、思考力や表現力等を向上させる。	3 90%以上の教員が、ユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業を行ったか。	3 児童アンケートで「授業が分かりやすい」と回答した児童が、80%以上				
			・各教科等の発問や授業展開を工夫し、児童が自ら考え、互いの考えを主体的に伝え合い、比較、検討することにより、自らの考えを深め、課題解決する力を育成する。	2 80%以上の教員が、ユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業を行ったか。	2 児童アンケートで「授業が分かりやすい」と回答した児童が、70%以上				
				1 80%未満の教員が、ユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業を行ったか。	1 児童アンケートで「授業が分かりやすい」と回答した児童が、70%未満				
			・居心地のよい学校・学級をつくるために、日常の学習や生活において児童一人一人の様子をきめ細かく見取るとともに、学期ごとにアンケート調査を行い、児童の実態や課題を把握し、早期対応を図る。 ・児童の課題に対して、週1回実施する支援委員会を中心に、特別支援教育の視点から、いじめや不登校の未然防止・早期発見・早期対応を図る。	○全教育活動を通して、道徳教育を推進し、豊かな心の育成を図る。 ○児童の主体的・協動的な学習を取り入れ、生命の尊厳を実感的に学べるようにする。	・学習形態を工夫し、「考え、議論する道徳」の授業を展開し、道徳的な判断力、心情、実践意欲とその態度を育てる。 ・道徳教育充実のために、「書く活動」を取り入れ、自己肯定感を高め、命の尊厳や思いやりの心等、自他を大切にすることを育む。 ・異学年、通常の学級、ひばり学級、特別支援学校、保育園等との交流や副籍交流を通して、互いを認め合い、相手の立場になって考えられる態度を身に付ける。	4 95%以上の教員が、児童が考えをもつ授業づくりに計画的に取組むことができたか。	4 児童アンケートで「自分の考えを伝えられる」と回答した児童が、90%以上		
						3 90%以上の教員が、児童が考えをもつ授業づくりに計画的に取組むことができたか。	3 児童アンケートで「自分の考えを伝えられる」と回答した児童が、80%以上		
						2 80%以上の教員が、児童が考えをもつ授業づくりに計画的に取組むことができたか。	2 児童アンケートで「自分の考えを伝えられる」と回答した児童が、70%以上		
						1 80%未満の教員が、児童が考えをもつ授業づくりに計画的に取組むことができたか。	1 児童アンケートで「自分の考えを伝えられる」と回答した児童が、70%未満		
豊かな人間性	○思いやりの心を育み、生命尊重の精神を育成する。	○学級ごとに、取組の重点を設定し、体育の授業や休み時間等、体を動かす楽しさを実感できるようにする。	・休み時間の外遊びを奨励するとともに、体育の授業に日常の遊びにつながる運動を取り入れ、授業の充実を図る。 ・体力向上週間を学期ごとに設定し、体育の時間以外にも積極的に運動に親しむ態度を育てる。 ・オリンピック・パラリンピアンや社会人講師を招き、運動の楽しさを体験する機会を設ける。	4 95%以上の教員が、命の大切さ等について考えさせる授業を行うことができたか。	4 児童アンケートで「命の大切さ等についてよく学んだ」と回答した児童が、90%以上				
			3 90%以上の教員が、命の大切さ等について考えさせる授業を行うことができたか。	3 児童アンケートで「命の大切さ等についてよく学んだ」と回答した児童が、80%以上					
			2 80%以上の教員が、命の大切さ等について考えさせる授業を行うことができたか。	2 児童アンケートで「命の大切さ等についてよく学んだ」と回答した児童が、70%以上					
			1 80%未満の教員が、命の大切さ等について考えさせる授業を行うことができたか。	1 児童アンケートで「命の大切さ等についてよく学んだ」と回答した児童が、70%未満					
			健康・体力向上	○地域教材・地域人材を活用し、体験的・課題解決的な学習を通して、地域や学校に対する誇りと愛する気持ちを育て、地域のために役立とうとする意欲を育てる。	○地域の人と出会い、関わり合いながら、わくわくが広がる環境をつくり、生活科、総合的な学習の時間のふるさと学習「日野大好きプロジェクト」を充実させる。	・年間指導計画に基づき、学年の発達段階に応じた地域教材、地域人材を活用した学習を行う。 ・地域への関心を高め、学習したことを地域へ発信・還元することができる学習活動を展開する。	4 95%以上の教員が、地域と結び付いた学習を行うことができたか。	4 児童の成果物で「地域に対して発信や還元ができています」児童が90%以上	
						3 90%以上の教員が、地域と結び付いた学習を行うことができたか。	3 児童の成果物で「地域に対して発信や還元ができています」児童が80%以上		
						2 80%以上の教員が、地域と結び付いた学習を行うことができたか。	2 児童の成果物で「地域に対して発信や還元ができています」児童が70%以上		
						1 80%未満の教員が、地域と結び付いた学習を行うことができたか。	1 児童の成果物で「地域に対して発信や還元ができています」児童が70%未満		
○学年が、生活科・総合的な学習の時間において、ふるさと学習「日野大好きプロジェクト」に取り組む。 ・総合的な学習の時間においては、児童自ら課題を設定し、探究的に取り組む、課題解決学習を展開する。	○ふるさと学習『日野大好きプロジェクト』の時間は楽しい」と回答した児童が、90%以上	○ふるさと学習『日野大好きプロジェクト』の時間は楽しい」と回答した児童が、80%以上				○ふるさと学習『日野大好きプロジェクト』の時間は楽しい」と回答した児童が、70%以上	○ふるさと学習『日野大好きプロジェクト』の時間は楽しい」と回答した児童が、70%未満		
								4 95%以上の教員が、課題解決学習を行うことができたか。	4 児童アンケートで「ふるさと学習『日野大好きプロジェクト』の時間は楽しい」と回答した児童が、90%以上
								3 90%以上の教員が、課題解決学習を行うことができたか。	3 児童アンケートで「ふるさと学習『日野大好きプロジェクト』の時間は楽しい」と回答した児童が、80%以上
								2 80%以上の教員が、課題解決学習を行うことができたか。	2 児童アンケートで「ふるさと学習『日野大好きプロジェクト』の時間は楽しい」と回答した児童が、70%以上
開かれた学校・特色ある学校	○学習環境・言語環境を整え、社会生活の規範を身に付ける。	○日常生活の中で、挨拶や言葉遣い等、相手の立場や気持ちに寄り添った言動を身に付け、適切に実行できるようにする。	・学習環境・言語環境を整え、場に応じた挨拶や適切な言葉遣いができるよう指導する。 ・朝の会、帰りの会等において、日々の行動や言葉遣い等を振り返る機会をつくり、社会生活における規範意識を高める。	4 95%以上の教員が、学習環境や言語環境を整えるよう努めることができたか。	4 児童アンケートで「返事や気持ちのよい挨拶ができた」と回答した児童が、90%以上				
			3 90%以上の教員が、学習環境や言語環境を整えるよう努めることができたか。	3 児童アンケートで「返事や気持ちのよい挨拶ができた」と回答した児童が、80%以上					
			2 80%以上の教員が、学習環境や言語環境を整えるよう努めることができたか。	2 児童アンケートで「返事や気持ちのよい挨拶ができた」と回答した児童が、70%以上					
			1 80%未満の教員が、学習環境や言語環境を整えるよう努めることができたか。	1 児童アンケートで「返事や気持ちのよい挨拶ができた」と回答した児童が、70%未満					
			生活	○学習環境・言語環境を整え、社会生活の規範を身に付ける。	○日常生活の中で、挨拶や言葉遣い等、相手の立場や気持ちに寄り添った言動を身に付け、適切に実行できるようにする。	・学習環境・言語環境を整え、場に応じた挨拶や適切な言葉遣いができるよう指導する。 ・朝の会、帰りの会等において、日々の行動や言葉遣い等を振り返る機会をつくり、社会生活における規範意識を高める。	4 95%以上の教員が、学習環境や言語環境を整えるよう努めることができたか。	4 児童アンケートで「返事や気持ちのよい挨拶ができた」と回答した児童が、90%以上	
							3 90%以上の教員が、学習環境や言語環境を整えるよう努めることができたか。	3 児童アンケートで「返事や気持ちのよい挨拶ができた」と回答した児童が、80%以上	
							2 80%以上の教員が、学習環境や言語環境を整えるよう努めることができたか。	2 児童アンケートで「返事や気持ちのよい挨拶ができた」と回答した児童が、70%以上	
							1 80%未満の教員が、学習環境や言語環境を整えるよう努めることができたか。	1 児童アンケートで「返事や気持ちのよい挨拶ができた」と回答した児童が、70%未満	